

平成29年6月

袋井市議会定例会

一般質問通告内容

インターネットで本会議の中継（録画）放送を行っています。
Yahoo! や Google などの検索画面から
袋井市議会を検索して、御覧ください。

傍聴者の皆様へ

携帯電話はマナーモードへの切り替えをお願いいたします。

袋井市議会

日 程	議員名	質問形式	ページ
6月13日(火)	伊藤 謙一	一問一答	1
午前	山田 貴子	一括	3
	竹野 昇	一問一答	5
6月13日(火)	近藤 正美	一括	7
午後	浅田 二郎	一問一答	8
	木下 正	一問一答	9
6月14日(水)	村井 勝彦	一括	11
午前	佐野 武次	一括	12
	岡本 幹男	一括	13
6月14日(水)	森杉 典子	一括	15
午後	大庭 通嘉	一問一答	16
	高橋 美博	一問一答	18

調整の結果、答弁者（市長、教育長）が変更される場合がありますので御了承ください。

質問順序	1	議席番号	13	質問者	伊藤 謙一
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	高齢世代に関する施策・課題について <p>我が国は、いまだかつて経験のない少子高齢化社会の中におり、本市も例外ではない。人口比の観点から、高齢世代に向けた福祉・医療施策は、今後更に多くなると予測されるし、いつまでも元気で暮らしていただくために、更なる健康寿命の延伸のための取り組みは、市の重要な課題である。生きがいづくりや、高齢世代の市民が抱える日常や将来の生活の課題解決に向けた本市の施策に関して以下に問う。</p> <p>(1) 高齢者の交通に関して</p> <p>ア 高齢者に関わる悲惨な交通事故のニュースが後を絶たない。本市においても高齢者の交通事故は増加しており、平成26年と平成27年を比べると高齢者65歳以上の関わる事故が40件増加している。事故の原因を考え、課題解決に向けた本市の取り組みを伺う。</p> <p>イ 本市の公共交通に関して、現在、一部の地域でデマンドタクシー制度を試行し、市バスからの移行を進めている。公共交通における高齢市民の“足”の確保を考える上で、昨年行った試行に関する費用対効果と市民からの意見に注目するが、結果と今後の課題についてそれぞれ伺う。</p> <p>(2) 高齢者の生きがいづくりについて、本市は就労意欲のある元気な高齢者に「暮らしの安心」と「生きがい」を感じながら、企業内での活躍のほか、高齢者相互の互助や社会参加、地域活動での貢献など、「週3日程度の働き方で一定の所得が得られ、生涯活躍できるプラチナ社会」を目指す「3Days Worker's Office構想」を掲げている。平成27年から開始され、本年度はふくろい生涯現役促進地域連携協議会設立、平成30年には実装を控えている。高齢者の生きがいづくりの観点から、本事業を通してどのように高齢者に生きがいづくりを行っていくか伺う。</p> <p>(3) 健康な定年前後の人の地方移住を促す「日本版CCRC」構想に関し、全国15市町が計3,500人程度の高齢者の受け入れを検討していることが、昨年、毎日新聞の調査で分かった。今後の人口減少社会を見据えた取り組みだが、本件に対する本市の考え方を伺う。</p>				市長
2	子育て施策・課題に関して <p>本市は、第2次総合計画内にて「子育てするなら袋井市」を掲げ、子育て世代への積極的な姿勢と施策を見せている。現在、市の行う施策の中で、本市の将来である10年、20年先のまちづくりに関わり深い事業であり、国も自治体へ子育て支援社会の再構築を目指すことを要請している。また、子育て世代は自治体間の移住（引っ越し）が活発なこともあり、自治体のまちづくりや政策評価が最も厳しい世代だと個人的には感じている。本市が子育て世代に選ばれるまちになることを目指し、以下の質問及び提言をする。</p>				市長 教育長

質問順序	1	議席番号	13	質問者	伊藤 謙一
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<p>(1) 厚生労働省は、子育て支援のための施策は、21世紀の少子・高齢社会を目前に控えた現時点において、子育て支援を企業や地域社会を含め社会全体として取り組むべき課題と位置付けるとともに、将来を見据え、今後概ね10年間を目途として取り組むべきとしている。社会全体で取り組む子育て支援に関して、本市の考え方及び取り組みは。</p> <p>.....</p> <p>(2) 子育て支援センター「カンガルーのぼっけ」等や子育て応援アプリ「フッピーのぼっけ」の配信等、本市には子育て支援に関する数多くの施策がある。しかし、残念ながらユーザーである市民に多くの情報が届いていない。広報ふくろいにて子育て世帯総合情報が掲載され、HPにも子育て情報は掲載されているが、今一度、広報及び周知の取り組みを見直す必要があると感じるが、いかがか。</p> <p>(3) 市民の子育て及び教育コストに関して</p> <p>ア 平成5年の厚生白書によると、子どもを持つ世帯の子育てに要する経費は近年増加しており、夫婦と子ども2人世帯のモデルの場合、第2子が大学へ入学する時点での子育てコストは、可処分所得の約70%と試算されている。また、一方で近年、教育関係費の消費支出に占める割合も増加してきているというデータがある。本市において子どもを育てる場合、出生から義務教育終了までの総コストは幾らかかり、そのファイナンスモデルを市民に情報提供することで今後の子育て施策に活かさないか。</p> <p>イ 現在の保育料（1号認定～3号認定）では、2人目及び3人目の子どもの保育料の減額対象の線引きであるきょうだい間の年齢差に対して矛盾を感じるが、いかがか。</p>					市長
					教育長

質問順序	2	議席番号	7	質問者	山田 貴子
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	袋井駅前活性化 袋井商工会議所が中心となって推進している、（仮称）袋井駅北口市有地開発事業の件、市としての考えを問う。 (1) 平成28年11月定例会で、市は同会議所に市有地を無償貸与する考えを示したが、市の考えは変わっていないのかお伺いします。 (2) 会議所では、2階部分にオフィスフロアを設けて区分所有とし、1階テナントフロア・3階多目的ホール・宿泊施設・駐車場は、「どまんなか袋井まちづくり(株)」の区分所有とすると伺っていますが、「どまんなか袋井まちづくり(株)」の会社の概要や建物の内容等を把握していますか。 (3) 3階の多目的ホールは、市としても望んでいたフロアですが、その場所が常に稼働できればよいのですが、稼働が少なければ倒産の恐れなども考えられます。市としての考えをお伺いします。 (4) 会議所が移転するのが前提でホテル建設が進められるようですが、現状の会議所の土地建物の買い取りや跡地について、どのように考えているのかお伺いいたします。 (5) 袋井市中心市街地活性化基本計画の内閣府認定作業の件は、どのように考えているのかお伺いします。				市長
2	宇刈北部の課題 宇刈地区で特に大日の自然は、とてもすばらしい景観だと感じますが、近い将来、過疎化が進みます。宇刈北部に将来展望を残し、これからも住みよいまちにしたいと思いますので、市の考えを問う。 (1) 毎年ホタルが飛び交う所ですので、いつまでもこのような自然が続くように地元の人たちと一緒に自然保護活動をしてほしいと思います。また、宇刈里山公園の中にホタルが飛び交うようにと人工のせせらぎと池を作りましたが、状況はどうですか。今後どのように整備しますかお伺いします。 (2) 昨年10月から始まったデマンドタクシーの件、状況を教えてください。使い勝手が悪いと地元の声を聞いていますが、あと4カ月で1年が経ちます。今後どのように考えているのかをお伺いいたします。 (3) 来年度から公民館はコミュニティセンターとして出発しますが、宇刈いきいきセンターは現状維持と伺っています。豊沢ふれあい会館と設立条件は一緒なのに随分と差が出ています。今後どのように考えていますか。お伺いします。				市長

質問順序	2	議席番号	7	質問者	山田 貴子	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
3	自転車の駐輪場 袋井駅南北自由通路が完成し、1年半が過ぎました。駿遠口には、立派なモニュメントができ、民間経営の駐車場もでき、少しずつですが、南口の顔ができてきました。南口のすぐ西側には無料駐輪場があり、敷地全体に自転車が止められています。そこでお伺いします。 (1) 南口の駐輪場計画はどのようになっていますか、お伺いいたします。 (2) 予想される駐輪場はどのような設計にするのかお伺いします。 (3) 料金の設定をどのように決めるのかをお伺いします。				市長	

質問順序	3	議席番号	5	質問者	竹野 昇
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	太陽光を中心とする再生可能エネルギーによる発電の普及について 市が所有する土地や建物の屋上や、民間の所有地であるが耕作放棄地または遊休農地となっている所で、再生可能エネルギーによる発電が可能な場所を探し、民間事業者が再エネによる発電をやりやすい環境を作ることは、地産地消の電気発電・災害対策・地球温暖化防止・エコなまちづくりにもなる。 (1) 市が所有する土地で、当面使う予定のない空き地を民間事業者に貸し出し、太陽光パネルの設置を許可するか。 (2) 補修が完了した学校や公民館などの屋上を(1)と同様に貸し出しが可能であるか。 (3) 耕作放棄地でも農地法の“カベ”で、太陽光パネルの設置ができない所が多い。市が「自然エネルギー供給地特区」（仮称）と認定し、農地法の転用がしやすいように研究してはどうか。 (4) 新総合体育館の屋根・駐車場に大型パネルを設置しては。				市長
2	高南幼稚園・袋井南幼稚園・袋井南保育所の統合・認定こども園化について 3園の統合・認定こども園化の庁内検討は、施設の老朽化や幼稚園児数の減少の観点だけからでなく、駅前中心部や高南地区のまちづくりの視点や、財政の観点からの検討も必要である。 (1) 人口減の駅前中心部活性化や高齢化が進む高南地区にとり、近くに幼稚園や保育所があることが子育て世代の移住を呼び込む社会的インフラの一つと考えるが、どう思うか。 (2) 保育所入所待機児童数を早急にゼロにするには、認定こども園を新たに作るのを待ってられない。袋井南幼稚園及び高南幼稚園の預かり保育時間帯の延長を考えているか。 (3) 袋井南幼稚園を除き、他の2園はすぐ建て替えが必要である状況とは思えない。あと何年使用可か。 (4) 新しく用地を取得し、認定こども園を建設する費用の概算は。 (5) 建設場所の検討は、教育部だけでなく駅前及び高尾自治会連合会長・高南自治会連合会長も加えた方が、まちづくりの視点から良いと思われるが、どうか。				教育長

質問順序	3	議席番号	5	質問者	竹野 昇
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
3 袋井駅南口駐輪場問題 現状の南口自転車置場は満杯を超え、利用者・管理人の双方が困っている。 (1) 市長は現場の状況を見て、どう思うか。 (2) 今後、400台収容の駐輪場が完成すると聞いているが、暫定的に南口東側の市有地を仮設自転車置場にできないか。					市長

質問順序	4	議席番号	12	質問者	近藤 正美
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	ラグビーW杯後の市政 2019年のラグビーW杯大会は、市にとって多くの分野で大きな意味を持つ。現在、市が国際感覚豊かな人材の育成と市の国際化に取り組んでいることは周知のことである。 (1) 大会後、まちや市民に醸成され得る国際化の機運を具体的にどう活用し、継続していくか。 (2) 国際化による「ふくろいスタイル」とはどのようなものか。 (3) 現在、国際感覚のある地域の人材を、具体的にどのように活用しているか。				市長
2	「英語のまちへ走る袋井」への取り組み 市が英語教育に力を入れている記事がこれまで新聞等に紹介され、従来と違った小中学校での英語熱の高まりを見せている。 (1) 外国語指導助手（ALT）の増員による効果と課題をどう捉えているか。 (2) T・T授業によるALTと日本人教師双方の課題にどのように対処しているか。 (3) 学校での英検対策と受検教材の補助はどのようにしているか。 (4) 子どもたちには英語に対する「好き・嫌い」が両極化する懸念があるが、具体的にどう手当てするか。				教育長
3	土地利用の基本方針 国土利用計画の「第2次袋井市計画」で、今後10年の将来を見据えた中長期的な視点に立っての、総合的かつ計画的な土地利用の基本方針が示されている。 (1) 中央南地域について、地域拠点となる浅羽北地区で「生活に必要な都市機能の誘導を図る」とあるが、具体的にどういう施策を考えているか。 (2) 笠原地区は「優良農用地の保全及び集落地の生活環境の改善により…」とあるが、現在との比較で具体的な方策はどのようなものか。				市長

質問順序	5	議席番号	15	質問者	浅田 二郎
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	支所機能を果たせる浅羽支所に 浅羽支所の縮小は、地域衰退の大きな要因となっている。支所の経緯と現状を明らかにし、支所らしい浅羽支所へ役割・機能・権限の強化を求める。				市長
	(1) 支所職員数の大幅減少の状況と、市全体の中で削減率が大きいことについて (2) 支所の事務分掌の縮小について (3) 総務部の一つの機関（組織）としての浅羽支所について (4) 支所長の役割と、今年度から部長級職員でなく課長級職員が支所長を務める理由と権限・責任の変化について (5) 支所とは何か、出張所（簡単な事務処理を行う）との違いについて (6) 関連し、浅羽保健センターの縮小について (7) 浅羽支所機能の拡充・強化について				
2	都市計画税の見直しを 都市計画税の統一がなされて6年が経過し、矛盾・疑問・問題点も多く、見直しが必要となってきている。				市長
	(1) 重くのしかかる都市計画税 収益が上がらないところからの徴収、評価額から見る都市計画税の重さ、近隣市町との比較と隣接地での差異などについて (2) 異常な使い途と必要以上の税収入 9割以上が都市計画事業に充てられないという異常、都市計画税を納めながら自らの下水道事業に充てられないという矛盾などについて (3) 法の趣旨からの逸脱について 市街化区域に課税するという原則と線引きされない自治体での考え方、区域に課税という考え方などについて (4) 都市計画税の課税範囲、税率等の見直しについて				

質問順序	6	議席番号	4	質問者	木下 正
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一問一答》					答弁者
1	<p>公共施設等総合管理計画の課題解決</p> <p>「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について」管理計画の策定を要請、本市でも袋井市公共施設等総合管理計画を策定し、公共建築物がすでにかなり老朽化している点。また、公共施設とインフラを合わせた更新等、費用が多額と推定されている点を確認されている。</p> <p>(1) 直近10年間の財源の見通しを問う。</p> <p>(2) 本計画の「施設類型ごと管理」を基に、今後、個別施設計画をどのような形で策定していくのかを問う。</p> <p>(3) 少子化対策を進める基盤となる学校教育系施設の充実が重要である。全体の44.9%を学校教育系施設が占めている現状から、父母等利用者の「思い」を熟慮検討する必要があるが、その個別施設計画の策定について問う。</p> <p>(4) 日本一健康文化都市を掲げる本市において、スポーツ・レクリエーション系施設も必要不可欠な公共施設であるが、室内環境等によって老朽化が加速している施設もある。予防保全を一層進めていくために、現状に即した個別施設計画の必要性を感じるが、優先順位の基準を問う。</p>				市長
2	<p>スポーツドリームを契機とした「する」スポーツ普及の取り組みについて</p> <p>本市では、第3次袋井市スポーツ推進計画の中で、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国高等学校総合体育大会弓道競技大会の開催 ○ ラグビーワールドカップ2019静岡県開催 ○ 2020東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴う事前キャンプ誘致 <p>などの成功に向け「見る」「支える」スポーツの推進に努力しているが、一方で以下のような現実もある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ アンケート調査等によると、70歳以上の男女の約43%が週に3日以上スポーツをしていると答えているが、56カ所のスポーツができる公共施設がある中、70歳以上の男女約71%が公共スポーツ施設を利用していない現実がある。 ○ 同アンケート結果によれば、30代女性のスポーツ実施状況は35.4%が全く行っていないとの回答があり、週に3日以上スポーツをしていると答えているのは7%に満たない状況である。 <p>以上は「する」スポーツの課題に対する更なる努力が必要であろうことを示唆していると感じております。先日市長も参加されたヤマハ発動機ラグビー一部の清宮監督の講演の中で、選手のステップアップのためには、夢と希望を与えられるような大きな舞台を与えることが私の仕事であるとの話がありました。</p>				市長

質問順序	6	議席番号	4	質問者	木下 正
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<p>(1) 市長として市民に提供するいわゆる箱モノ以外の「する」スポーツへの取り組みのために、大舞台を提供するなどの普及構想はあるか。また、それ以外の「する」スポーツ普及への取り組みはどうか。</p>					市長
3	<p>教育の推進と放課後児童クラブの取り組みについて</p> <p>女性の社会進出が進み、待機児童解消に向け本市でも努力しているが、一方で子どもの家庭におけるしつけなど道徳教育が難しい現実がある。また、新学習指導要領の改正により、小学生の英語の教育環境の充実が緊急課題であり、小学校教諭の英語指導法の教育、授業時間獲得等の課題がある。</p> <p>(1) 認定こども園での道徳教育の取組法は考えているか。</p> <p>(2) 放課後児童クラブの活用による、スポーツや英語教育あるいは囲碁・将棋など学校教育にない科目も入れることにより、放課後児童クラブの一層の充実を図られると考えるが、考慮の余地はあるか。</p> <p>(3) 小学校での英語の授業補助や、上記2点の取り組みには専門知識のある人材の登用や財源の確保が肝要であるが、その手法を問う。</p>				教育長
4	<p>田端8号線の整備の見通しについて</p> <p>老朽化する道路ストックを含めた社会資本については、適切に維持管理、更新を行いながら、利用者の安全確保と、メンテナンスを含めたトータルコストの縮減、平準化を両立することがとても重要になっています。本市では換地手法により上山梨沿道整備土地区画整理事業を行うなど、行政の英知を生かした素晴らしい事業も進められている。一方で、高南地区においては駅南口がオープン、病院や薬局が開業し、地区の高齢者が通い始めているが、目と鼻の先に見える駅や病院に行くためには道を大きく迂回するしかなく、長距離を歩くことのできない高齢者は、タクシーなどを使っています。また、迂回せず近道である田端8号線をタクシーが利用することも多々あり、歩行者や自転車を利用している住民に危険が及んでいる。田端8号線沿いは耕作放棄地が多く草木が背丈ほどになっており、田端8号線自体も30年、40年手つかず放置され、舗装も剥げている。</p> <p>(1) 英知を生かした高南地区から駅までの安心・安全な道の確保の方策を問う。</p>				市長

質問順序	7	議席番号	2	質問者	村井 勝彦
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					答弁者
1	青少年健全育成事業における地区懇談会の取り組み 青少年健全育成事業における地区懇談会の取り組みについて伺う。 (1) 地区懇談会に係る報告書の対応について (2) 地区別アンケート調査の結果について (3) 地区懇談会の開催に係る検討状況及び今後の対応について (4) 青少年健全育成事業委託料について				教育長
2	公民館のコミュニティセンター化の取り組み 平成30年度から公民館がコミュニティセンターに移行されるが、移行に係る準備状況等について伺う。 (1) コミュニティセンターに移行するメリットについて (2) (仮称) まちづくり協議会について (3) 収益事業について (4) 移行に係る経費について (5) 地区住民等への周知の方法について				市長
3	市道東同笠油山線の整備の取り組み 市道東同笠油山線の整備の進捗率及び仮設道路の安全対策等への取り組みについて伺う。 (1) 市道東同笠油山線の整備進捗率及び整備完了年度について (2) 整備途中における仮設道路等の安全対策について				市長

質問順序	8	議席番号	3	質問者	佐野 武次
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	浅羽南地域の振興について 東日本大震災から6年を経過しても、なおも厳しい状況が続いている、浅羽南地区の振興方策等について伺う。 (1) 防潮堤整備事業について ア 県との連携で整備する区域外の1.35kmの区間で必要となる土量はどのくらいか。公共事業等の発生土は計画どおり確保できるか。期間内において工事は完了するか。 イ 防潮堤整備事業と松くい虫防除事業とは調整が必要となる。整合を図って、期間内に工事を完了できるか。 ウ 他の自治体に先駆けて、まずは防災林全域を、市の事業によりレベル1の津波高に対応できるよう整備すべきでは。 (2) 農地に係る土地利用規制を見直し、新たな事業用地や住宅用地を計画的に創出して、持続的な発展を図っていく考えはないか。 (3) 既存の地域資源を活用したソフト事業を展開し、地域のイメージアップにつなげていく考えはないか。 (4) 袋井幸浦の丘プロジェクトに向けて、ナイター施設の修繕を含め、浅羽球場の周辺施設を充実させていく考えはないか。				市長
2	交通政策について 平成28年10月から、宇刈地区と浅羽南地区を対象に、デマンドタクシーを試行的に導入したが、その結果とコミュニティセンター化に伴う利用者の移動手段について伺う。 (1) これまでの利用者数と利用者1人当たりのコストは。 (2) 自主運行バス運行時と比較し、どの程度予算が軽減できたか。また、軽減となった場合、利用運賃を下げる考えはあるか。 (3) アンケートから見えてきた課題は何か。また、今後の進め方は。 (4) コミュニティセンター化に伴う高齢者等の利用者の移動手段については、これまで、どのような検討がなされ、どのような方針としたのか。				市長

質問順序	9	議席番号	14	質問者	岡本 幹男	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）						答弁者
<p>1 袋井駅南地区まちづくりについて</p> <p>袋井駅南地区まちづくりには、袋井市南部住民から大きな期待がかかっている。そこで、これらに関連して、次の3点を伺う。</p> <p>(1) 袋井駅南口臨時駐輪場は、露天のため、利用する高校生等から屋根が欲しいとの要望が強い。北口駐輪場との兼ね合いもあるが、簡便な施設でこれに応える方法はないか伺う。</p> <p>(2) 袋井駅南都市拠点土地区画整理事業は、従来、小規模宅地の多いことが事業進展の障害となっていた。仮換地設計にあたり、地域住民の減歩対策としての保留地購入希望に対し配慮するような指導が、組合に対してなされているか。</p> <p>(3) 商業ゾーンの開発は、業務代行方式で行うこととなったが、業務代行者に開発に当たり求める条件は何か。また、長期の事業を進める上で、業務代行者の資金調達や収入源に無理な面はないか。</p>						市長
<p>2 都市計画マスタープラン・住生活基本計画の策定について</p> <p>平成29年度は、都市計画マスタープラン・住生活基本計画策定の年となっている。今回、新たに策定される内容を含め、具体的に何を目的としてどのような構想で策定するのか、次の3点を伺う。</p> <p>(1) 都市計画マスタープラン計画策定での立地適正化計画は、人口減少社会を見据え、持続可能な集約型の都市づくりを目指すとされる。従来計画からの変更点や、上位計画との関連性について伺う。</p> <p>(2) 都市計画マスタープラン計画策定での地域別構想は、どのような基本構想で臨むのか。集約化の名のもとに中心市街地と周辺部との地域格差拡大も懸念されるが、これに対する構想はあるか伺う。</p> <p>(3) 住生活基本計画では、空き家の増加やライフスタイルの多様化に対応するものとされる。具体的には、どのような構想で臨むのか伺う。</p>						市長
<p>3 有害鳥獣被害の対策について</p> <p>イノシシやハクビシンやカラスなどの鳥獣による農作物被害が拡大しているとされる。従来の対策に加え、有効な対策はないか、次の4点について伺う。</p> <p>(1) 有害鳥獣による農作物被害など被害の実態と捕獲の実態をどのように把握しているか。イノシシの出没で歩行などに危険を感じる例や、また、ハクビシンが家屋に住みつき糞による悪臭、家屋の腐食の例も聞かれる。これら、農作物被害以外への被害の拡大についての対策はあるか。</p>						市長

質問順序	9	議席番号	14	質問者	岡本 幹男
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<p>（2） 有害鳥獣の捕獲は猟友会への委託が主体となる。ところが、猟友会のメンバーは高齢化と俸給生活者が多いことから、実際に動ける人は少ないと聞く。箱ワナの貸与、委託料の支給、会員の増加策など猟友会への支援策は十分か。また、解体処理施設の提供による食肉としての活用法はないか。</p> <p>（3） ハクビシンは、平成29年度から狩猟免許が無くても箱ワナを設置できるよう制度改正された。今後、イノシシのような捕獲に対する補助の制度を設けることはできないか。また、鳥の害への対策は現状で十分か。</p> <p>（4） 有害鳥獣に対する電気柵や防護柵の設置も有効な対策となる。設置費用の助成制度もあるが現状で十分か。また、伊豆での事故の例もあり、電気柵での衝撃電流の扱いに対する講習会の開催など設置に対する支援策は考えられないか。</p>					市長

質問順序	10	議席番号	1	質問者	森杉 典子
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	子ども医療費助成制度について 安心して子どもを産み育てられ「袋井市に住んで良かった」と思う要素の中で、子ども医療費助成制度が充実していることは、子育て世代の経済的負担を軽減するために大変に重要と考えます。 (1) 子育て世代を応援するためには、現行の制度を、高校卒業年（18歳になる年度末）まで拡充できないか伺う。				市長
2	不育症治療費助成制度について 静岡県では今年度から「妊娠のための支援・安心して出産を迎えるための支援」として、不妊・不育相談事業及び不妊治療費助成に加え、妊娠しても流産や死産を繰り返す「不育症」の治療費に対する経済的支援が実施されます。 (1) 本市の不育症治療費助成制度実施の予定を伺う。				市長
3	就学援助について 今般、文部科学省は「要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱」を、平成29年3月31日付で改正することにより、就学援助要保護児童のランドセルの購入等「新入学児童生徒学用品費等」の単価を従来の倍近くの額にするとともに、その支給対象者に、これまでの児童生徒の保護者から、新たに就学予定者の保護者を加えました。 (1) この改正要綱に基づいての本市の措置を伺う。 (2) 文部科学省からの今回の予算措置は、要保護児童生徒に限ったものであり、準要保護児童生徒は対象になっていないが、要保護児童生徒と同様の措置となるのか伺う。				教育長

質問順序	11	議席番号	20	質問者	大庭 通嘉	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一問一答》	答弁者
1	政治姿勢について 現在、地方創生袋井版総合戦略5ヶ年計画が推進されている。中間年を迎え、今一度「雇用創出」・「子育て」など、所期の目的に立ち返り、事業を進めていく必要がある。				市長	
	(1) 総合戦略の中間年を迎えるが、これまでの実績は。 (2) 目的（雇用創出・子育て）にかなう事業推進ができているか。 (3) 総事業費と市費充当額を今後どの程度見込むか。 (4) 袋井商業高校5年制化、3DWO、待機児童0の取り組みは。 (5) 企業誘致の推進状況について ア トップフォームズ東海(株)進出による効果見通しは。 イ 第一三共跡地への企業誘致の現状と進め方は。 ウ 小笠山山麓開発の今後の見通しは。 エ 新たな工業用地の開発可能性調査は。 オ 本市への新規企業の進出打診はどの程度あるか。 カ 企業誘致に対する基本的考え方は。 キ 袋井市産業経済懇話会に求めるものは。					
2	墓地問題について 平成27年11月から市営墓地が開園した。市内にある共同墓地と併せて、今後の市営墓地の経営及び管理のあり方について整理をしておく必要がある。				市長	
	(1) 共同墓地の管理運用実態をどう把握しているか。 (2) 災害などによる責任所在をどのように考えるか。 (3) 埋火葬許可証の管理実態はどう把握しているか。 (4) 市営墓地計画の見直しの基本的考え方は。 (5) 墓地需要の変化に伴う墓地の見直しは。					

質問順序	11	議席番号	20	質問者	大庭 通嘉
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<p>（6）無縁者の墓地の扱いと行政の終活サービスは。</p> <p>（7）魅力ある墓地に向けての修景整備は。</p>					市長

質問順序	1 2	議席番号	1 6	質問者	高橋 美博	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）						答弁者
1	「ひきこもり」支援について 昨年、内閣府は15歳から39歳の「ひきこもり」の人が全国で推計54万1千人に上るとの調査結果を公表した。袋井市にも多数潜在していると思われる。本市の取り組みを伺う。					市長
	(1) 市は実態把握をしているか。 (2) 市の相談窓口はどこか。また相談・支援の状況はどうか。 (3) 各部署・組織・専門機関の連携は図られているか。 (4) 「ひきこもりサポーター」の養成はどうか。 (5) 教育部局の不登校対策、相談支援の経験は生かされているか。 (6) 市内にある就労支援施設の利用状況はどうか。 (7) ニートに対する支援・対策はどうか。					
2	コミュニティ・スクール推進事業について 袋井市では平成28年度から全小中学校に一斉導入した。その成果と今度の取り組みの課題について伺う。					教育長
	(1) 導入でどのような変化が生まれているか。 (2) 学校支援地域本部事業を全小中学校で実施を目指すとしているが実績はどうか。また、その中心的役割を担うコーディネーターの選任はどうか。 (3) 学校支援ボランティアの活動内容を参加状況はどうか。 (4) 放課後や長期休業中の学習支援がいくつかの小中学校で実施されている。学習支援に対する教育委員会の考えはどうか。 (5) 公民館・PTAとの連携をどのように図っているか。					
3	デマンドタクシーの運行について 平成28年10月から宇刈地区・浅羽南地区で試行運行を開始した。市はその検証を行い、本年10月から本運行を予定している。課題について伺う。					市長
	(1) 利用の実績についての評価はどうか。					

質問順序	12	議席番号	16	質問者	高橋 美博
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<p>《一問一答》</p> <p>(2) 利用者の不満や意見はないか。</p> <p>(3) 見直しでの利用の改善は図られるのか。</p> <p>(4) 今後の展開についてどう考えているのか。</p>					市長